第７５号
令和4年12月22日
編集責任者　石井　卓也

清里農連通信

発行　清里町農民連盟
清里町羽衣町2番地
TEL 0152-25-3792
FAX 0152-25-3793

道農連「2022秋闘畑作・野菜対策中央行動」

１１月１５日・１６日の二日間秋闘畑作・野菜対策中央行動として道農連、事務局とともに全道から総勢４３名で行動を行ってきました。今回の日程は主に農水省との意見交換で、前もってこちらから提出されていた提言書とそれに対する回答をもとに各項目について意見交換を行った。

初日の１５日は、野菜政策の拡充強化、食の安全・安心に関する制度の厳格化、環境保全型農業直接支払制度の拡充・強化について意見交換を行い、その後各班に分かれ道選出国会議員に議員要請を行った。

二日目の１６日は直接支払交付金改定の単価内容、作物別対策、持続的畑作対策、甜菜・馬鈴薯、基本計画の実効性確保、セーフティネット対策省力化・人材育成、麦・豆類対策、基本法の見直しと食糧安保の強化、畑作物の国境措置の確保、食物防疫検査体制、肥料高騰対策の拡充と資材の安定確保について農水省からの回答、説明をもらい意見交換を行った。

農水省との意見交換では交付金単価の改定又生産資材の高騰による農家への大きな負担があるなか支援策として色々なメニューが実際には地域制に合わず使いずらいものになっていて、今回の農水省への要請、意見交換でこれから幾らかでも変わってほしいと思います。

桑島　義幸







肥料価格高騰対策及び飼料価格高騰対策支援事業

１０月７日に行われました連盟執行委員と町長との懇談会にて、化学肥料原料の大幅な上昇に伴う肥料価格の高騰、また同時に飼料の価格も大幅に上昇していることから、町として支援していただけないかと要望した結果、以下の支援事業が１２月１６日に議会を通りまして行っていただけることとなりましたのでご報告します。

肥料価格高騰対策支援事業

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が急騰しているため肥料コスト上昇分の一部を支援することにより農業経営への影響を緩和することを目的とする

○対象となる肥料　令和４年度に購入した肥料

○支援の内容　前年度から増加した肥料費の上昇分の一部を補助

①当年の肥料費　８３４，５４４千円

②耕作面積　８，６００ha （出作分算入、入作分除外）

③国補助算定式　（８３４，５４４千円－（８３４，５４４千円÷１.４÷０.９）×０.７）＝１２０，５４６千円

④町補助対象額　１７２，２０８千円－１２０，５４６千円＝５１，６６２千円

⑤町支援額　５１，６６２千円×1/3＝１７，２２１千円

１７，２２１千円÷８，６００ha＝２００２円(１ｈａあたりの補助額、１０円未満切り捨て)

２，０００円×８，６００ha＝１７，２００千円

飼料価格高騰対策支援事業

世界的な穀物需要の増加やウクライナ情勢等に伴う飼料原料価格の上昇等により、飼料価格が大幅に上昇しているため、飼料コスト上昇分の一部を支援することにより畜産経営への影響を緩和することを目的とする。

○対象となる家畜　８月１日現在飼育されている乳用牛及び肉用牛

○支援の内容　国が経産牛に対して補助する額（北海道は７，２００円）から、前年度から上昇した分を差し引いた２，８００円を補助

①補助額

乳用牛成牛（経産牛）	２，８００円
乳用牛若牛（経産牛以外）	１，６８０円
肉用繁殖雌牛（１８ヶ月齢以上）	２，２４０円
上記肉用牛以外	１，３４０円

	乳用牛			肉用牛			合計
	経産牛以外	経産牛	計	右記以外の肉用牛	繁殖雌牛	計	
頭数	828	892	1,720	319	384	703	2,423
単価	1,680	2,800		1,340	2,240		
補助額	1,391,040	2,497,600	3,888,640	427,460	860,160	1,287,620	5,176,260

編集後記

今年も残りわずかとなりました。皆さんはどんな年でしたか？自分はダメダメな年でした。ここに来年の行事予定を載せておきます。皆様ご確認お願いします。１２月２９日事務所最終日、年明けは１月６日から、１６日～１８日地区別懇談会、１９日～２０日医療費受付、２４日～決算書集団別受付となっています。懇談会に際しましては皆様ご参加よろしくお願いします。　石井